

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	PSP総合棟建設工事	階数	地上4F
建設地	大阪府摂津市三島2-5-1	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	最大100人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,500 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年4月 予定	評価の実施日	2018年5月15日
敷地面積	160,836 m ²	作成者	佐藤
建築面積	726 m ²	確認日	2018年5月21日
延床面積	2,394 m ²	確認者	北村



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
周辺建物と調和し、明るく清潔な佇まい 既存緑地を最大限活かした配置計画 建築基準法の1.25倍の耐震性能を有する安心・安全な計画 高効率かつ維持管理に配慮した設備計画		
Q1 室内環境 開口部を最小限とした高い外皮性能	Q2 サービス性能 建築基準法の1.25倍の耐震性能 設備機器の耐震クラスA モジュールチラー採用による熱源機器の冗長化	Q3 室外環境(敷地内) 既存緑地を最大限活かした配置計画
LR1 エネルギー 高効率な空冷モジュールチラーの採用	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生器具の採用	LR3 敷地外環境 光害抑制する外装計画

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-変-0001

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	PSP総合棟建設工事						
	建設地	大阪府摂津市三島2-5-1						
	用途/区分	事務所 工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.6	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項	周辺建物と調和し、明るく清潔な佇まいを構築/既存緑地を最大限活かした配置計画/建築基準法の1.25倍の耐震性能を有する安心・安全な計画/高効率かつ維持管理に配慮した設備計画	